

お知らせ

【「持続可能なインパクトを生み出そう」とオンラインカ・ババロラ氏が会員に呼びかけ】

インパクトある活動と「世界をオープンに受け入れる」ことを国際ロータリー会長エレクトが強調

1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会でオンラインカ H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。

「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」 続きは[こちら](#)

関連動画：

- [オンラインカ H. ババロラ RI 会長エレクトの講演、ジョン・ヒューコ RI 事務総長兼 CEO の講演](#)
- [ジェニファー・ジョーンズ ロータリー財団管理委員長エレクトの講演](#)
- [閉会本会議でスピーチするフランチェスコ・アレツツォ 2025-26 年度 RI 会長、オンラインカ・ハキム・ババロラ 2026-27 年度 RI 会長、ラリー・ランスフォード 2027-28 年度 RI 会長](#)

【インドの不動産開発業者、ロータリー財団に5,000万米ドルを寄付】

「寄付は義務」と語る長年のロータリー会員ラビシャンカール・ダコジュさん（バンガロール・ロータリークラブ所属）が、同じクラブの会員である妻パオラさんとともに、[ロータリー財団](#)に約 5,000 万米ドル（約 78 億円）の寄付を誓約しました。この発表は、1月13日、米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会において行われました。 続きは[こちら](#)

【心の傷をケアする】

犬の散歩中に夫婦で思いついた「心の応急処置」

紙に描かれた T シャツのイラスト。そこには、ひそかにうつ病を抱える人に対して周囲が抱く偏見やレッテルが書かれています。「孤立した怠け者」「ネガティブな人」「チームで働けない」「愚痴ばかり」——次々と出てくる言葉から、偏見の根深さが伺えます。

2 日間の講座の最初に行われるこの演習で、参加者は、需要が高まっている「心の応急処置」(mental health first aid)のスキルを学びます。講座を修了した人たちは、メンタルヘルスの不調を初めて経験する人や悪化しつつある人と対話しサポートするための自信と手段を身につけます。このような応急処置を通じて、電話相談やカウンセラー、地元支援団体、医師などにつながることができます。 続きは[こちら](#)

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位5ヶ国

	2026年1月28日現在
アメリカ	\$ 156,878,484
カナダ	\$ 17,502,077
韓国	\$ 12,322,284
インド	\$ 11,737,450
日本	\$ 9,951,299

2025-26年度 目標(日本)

- ・年次基金：一人当たり 150 ドル
 - 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
 - EREY(年次基金への寄付)の推進
 - ポール・ハリス・ソサエティの推進 (各地区+10 名目標)
- ・ポリオプラス：一人当たり 30 ドル
 - ポリオプラス・ソサエティの推進 (各地区50名目標)
- ・恒久基金：冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付：1 万ドル以上のご寄付 100 件、AKS10 名増(日本全体)
- ・DDF の有効活用
- ・ポリオプラスへ DDF の 20%を寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金活動の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 286
AKS会員数 74
PHS会員数 1726

【ドバイで持続可能な素材を使って空間を創り出すインテリア設計士】

(前略)インテリアデザインにおいて注目が高まっているトレンドは、アーチです。直線的なラインとは対照的に、空間に優雅さと柔らかさをもたらし、空間を区切ったり、眺望にフレーム感を与えたり、空間の中心となったりして、バランスと流動性を加えます。シンプルなデザインから高級感あふれるデザインまで、さまざまなスタイルに取り入れることができ、木材や石などの自然素材と組み合わせることでさらに温かみと質感を演出できます。

ここドバイでは、持続可能性が重要なテーマです。天然素材ではなく、再生材や合成素材を優先的に使用しています。例えば、天然木の床材の代わりに合成床材を、天然大理石の代わりに人造大理石を選びます。このアプローチは環境への影響を減らすだけでなく、資源の保全にもつながります。 続きは[こちら](#)

【幸せのメカニズムを解き明かす】

長年の科学研究によって「幸福感を高める最も重要な行動」が明らかになっており、ロータリー会員はそれを既に実践しています。

ロータリーにおける最も野心的なプロジェクトの一つ、ザンビアにおけるマラリア対策は、友情に端を発しています。

ロータリアンのビル・フェルトさんが、2021年に[ロータリー財団](#)初の200万ドル規模の「大規模プログラム補助金」を受領したプロジェクトについて語る際、彼は確保した資金や受けた称賛には触れません。その代わり、ザンビアで友人となった医師ムワンガラ・ムイエンデクワさんとの「つながり」について、彼は力強く話します。 続きは[こちら](#)

【ロータリー奉仕プロジェクトセンターをフル活用しよう】

アイデアをインパクトへと変えるための優れたツール

どんなに優れたロータリーのプロジェクトも、一つのアイデアから始まるもの。ただし、アイデアを持続可能な変化へとつなげるには、入念な計画と協力、そしてツールが欠かせません。1日の海岸清掃活動でも、学校での職業訓練の改善でも、学校全体での識字プログラムの導入でも、その目標は持続可能な真のインパクトを生み出すことです。



では、どうすれば「グッドアイデア」を「効果的なプロジェクト」へと転換できるでしょうか。まずは、地域社会と一緒に地元の優先ニーズを特定し、関連する地元団体と協力し、成果の測定計画を備えた明確な目標を定め、一時的な解決ではなく長期的な恩恵をもたらすことに焦点を当てることから始めましょう。

そこで役立つのが、ロータリーの「奉仕プロジェクトセンター」です。 続きは[こちら](#)

(注:奉仕プロジェクトセンターには定期的に新しい情報が追加されます。頻繁にサイトを訪れ、最新の機能や情報をご確認ください。)

【小さな衛星クラブの大きな挑戦】

～万博から広がるつながりと未来への願い

寄稿者:川上智子さん(大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブ会員)

こんにちは！私たちは大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブです。2019年に大阪中央ロータリークラブを母体として誕生した、若手世代を中心とする小さな衛星クラブです。

先日、私たちのプロジェクトが、2025年大阪・関西万博の「みんなで選ぶ共創チャレンジ賞」をいただきました。このプロジェクトは、万博 TEAM EXPO「フューチャーライフビレッジ」会場で2025年6月14日に展示を行うというものです。

11人で決めた出展:つながりが紡いだ多様な未来の姿

プロジェクトが始動したのは昨年度のこと。当時は11名のメンバーが在籍していました。国際ロータリー第2660地区のある地元・大阪で万博が開催されるという、一生に一度の好機。「いのち輝く未来」をテーマに、明るい未来を実現すべく自分たちにできることから取り組もうと、出展を決意しました。 続きは[こちら](#)

【世界中で活躍する「行動人」】

世界中のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

【大規模災害救援基金】

自然災害の被害を受けた地区では、支援と復興のために[ロータリー災害救援補助金](#)を利用することができます。この補助金は[ロータリー災害救援基金](#)によって支えられています。ロータリー財団管理委員会は、特定の大規模な災害に対し、この災害救援基金(一般)とは別に、個別の基金を設置する場合があります。現在、「ハリケーン『メリッサ』救援基金」と「サイクロン『ディトワ』救援基金」の二つの大規模災害救援基金が設置され、寄付を受け付けています。

<ご支援方法>

- 銀行振り込み:[寄付送金明細書](#)に基金名をご記入ください。
- オンライン寄付(クレジットカード決済):[こちら](#)から、該当基金を選択してください。
- DDFの寄贈:[こちら](#)から、該当基金を選択してください。

<寄付受付期間>

「ハリケーン「メリッサ」救援基金」 2026年1月31日まで

「サイクロン「ディトワ」救援基金」 2026年3月31日まで

【1月にロータリー財団特別功労賞の推薦期間が開始】

ロータリー財団特別功労賞は、ロータリー財団において模範的な奉仕を実践したロータリアンならびにローターアクターに贈られる賞です。候補者となるには、功労表彰状を受賞後、少なくとも丸4年が経過していなければなりません。

地区ガバナーは、地区から1名の候補者を推薦できます。推薦期間である1月中に、[オンライン推薦フォーム](#)を通じてご提出ください。記事は[こちら](#)

【訃報】

第3地域ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)としてご尽力いただきました堀川貴史様が、2026年1月1日にご逝去されました。ここに謹んでお知らせ申し上げますとともに、ご生前のご功績に深く感謝し、心より哀悼の意を表します。

なお、後任のRRFCが決まり次第、お知らせいたします。

リソース

<My ROTARY>

[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[ロータリーのYouTube](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#)にログインすると、「[各種レポート](#)」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

ポール・ハリス・フェロー

認証ポイント使用申請書の

送付先は、

RIJPNTRF@rotary.org です！

★最新のポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書をご利用ください(最下部の送付先を上記アドレスに更新済み)。

★kifu@rotary.org は寄付送金明細書の専用アドレスとなります。

【管理委員からのメッセージ:2020-21年度(2021年度)繰越DDFの活用について】

ロータリー財団管理委員 辰野 克彦



2021年7月から、地区財団活動資金(DDF)の繰越は5年間までという制限が適用され、今年度終了時に、5年を超えて未使用となっているDDFは財団プログラムに再配分されることとなります。2021年度からの繰越DDFは、6月30日までに補助金に使用または寄贈されていない場合、自動的に国際財団活動資金(WF)に組み入れられます。

地区はDDFを最大限寄付者である会員の意向に沿って活用する責任があります。現在21地区で、2021年度繰越DDFの残額がありますが、早めに使途を決定し、手続きを3月中に完了するようにお願いいたします。

【DDF活用方法】

<寄贈> 2021年度または現年度を指定して寄贈できます。 [オンライン寄贈フォームはこちら](#)

寄贈オプション 3月中の手续を推奨

- ・ポリオプラス基金: ポリオ根絶活動を支援(年次基金寄付によるDDFの20%以上で表彰)
- ・ロータリー災害救援基金: 自然災害で被災した地区を支援
- ・国際財団活動資金(WF): ロータリー財団管理委員会により、ニーズの高い活動を支援
- ・平和構築プログラム: ロータリー平和センター、平和構築と紛争予防(重点分野)などを選択
- ・恒久基金: ロータリーの重点分野の一つ、WF、シェア、ロータリー平和センターなどを選択

※手続き後に送信される自動確認メールをご確認ください。3日以内にメールが届かない場合は、share@rotary.orgまでご連絡ください。年度末には混雑が予想されるためできるだけ3月中に手続きを完了するようにお願いします。

<グローバル補助金> 3月1日までに申請書提出を!

補助金では、現年度のDDFが全額利用された後、古い年度から使用されます。2021年度繰越DDFをグローバル補助金で使い切るには、現年度と2021年度残高を超えるDDFを配分したグローバル補助金がすべて、6月30日までに承認を受ける必要があります。

現在から6月にかけて、グローバル補助金の申請が多数寄せられることが予想されます。3月1日までに受理された不備のないグローバル補助金申請書は、6月30日までに審査・承認される可能性が高くなります(承認を保証するものではありません)。クラブと地区は3月1日以降も申請できますが、今年度中に審査・承認されない場合があります。承認が次年度になった場合は、次年度のDDFから使用されます。

質の高いプロジェクトを立案するために[ロータリー財団専門家グループ\(Cadre\)](#)のメンバーからの援助もご活用いただけます。

未使用DDFの配分に関する詳細は、[よくある質問](#) または [こちらのビデオ](#) をご覧ください。

【次年度への繰越】

2025-26年度「地区で利用可能なDDF」レポートに表示される「DDF残高」は、5年目となる2020-21年度の繰越額を含みます。次年度計画のために繰越額を計算する際は、2021-22年度～2025-26年度の5年間のDDF残高を合計します。2020-21年度DDF残高が残っている場合、残高から2021年度DDFを減額しなければならず、レポートの「DDF残高」が繰越額とはならない点にご留意ください。

計算例

年度別 DDF 残高 (推定)	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25	2025-26	DDF 残高
	\$1,000.00	\$100.00	\$0.00	\$0.00	\$200.00	\$300.00	\$1,600.00

再配分
(繰り越さない)

繰越予定額
\$ 600.00

【My ROTARYアカウントやメールアドレスの登録を確認しましょう！】

寄付・認証に関するレポート閲覧や、補助金手続きの際には、ご自身のロータリー会員情報に紐づいた [My ROTARY](#) のアカウントが必要です。My ROTARY のアカウントは、事前にロータリーへご登録いただいているメールアドレスにて作成します。

My ROTARY での作業が必要となるタイミングでスムーズにできるように、また、補助金に関する連絡などロータリーからのメールが届くように、有効なメールアドレスが登録されているかどうか定期的にご自身の登録情報の確認をお願いいたします。（特に補助金手続きは、事務局の方による代行はできません。また、寄付累計や履歴が掲載されている寄付者履歴レポートは、ご本人様のみ閲覧可能となっております。）

◆ My ROTARY アカウントをすでにお持ちの方：メールアドレスの確認

1. [My ROTARY](#) へログイン。
2. トップページにて所属クラブ名や地区番号などが表示されることを確認。（表示されていない場合、正常に会員情報と紐づいていない可能性がございます。）
3. ログイン用 E メールアドレスを確認します。画面右上の「マイアカウント」をクリックし、出てくるメニュー内の「アカウント設定」をクリック。
4. 「セキュリティ」欄に現在のログイン用Eメールアドレスが表示されます。変更する場合は青字「ログイン用Eメールを変更」からお手続きください。
5. 次に、主要なメールアドレスを確認します。画面右上の「マイアカウント」をクリックし、出てくるメニュー内の「マイプロフィール」をクリック。
6. 「連絡先情報」欄に「主要な E メールアドレス」や住所などが表示されています。最新の情報であることをご確認ください。右側の青字「入力／変更」から更新することができ、「RIからの連絡にこのEメールを使用」を選択しているメールアドレスが、あなたの主要なメールアドレスとなります。

《留意点》 登録内容の混乱を防ぐため、上記「主要なEメールアドレス」と「ログイン用Eメールアドレス」には、同じメールアドレスを使うことを強く推奨しております。通常、補助金関連のメールはログイン用 E メールアドレスへ送られます。

トップページに所属クラブ・地区の表示がない方

[My ROTARY](#) にログインした際に、トップページに所属クラブ・地区番号の表示がない場合、会員情報とそのアカウントが正しく紐づいていない可能性があります※。データサービス部 data@rotary.org へ、お名前（アルファベット）、所属クラブ名、ロータリーの会員番号（ID 番号）、ログインに使ったメールアドレス、ロータリー会員として My ROTARY にログインができていない旨を書いてご連絡ください。メールは日本語でお送りいただけますが、お名前と会員番号（ID 番号）は半角英数でお願いします。通常、数日から 1 週間程で、その後の対応について、日本語で会員ご本人様へ送信されます。

※会員情報とアカウントが正しく紐づいていない場合、アクセスできるページが制限されてしまいます。

- ・自分の寄付や認証状況などを確認することができない
- ・登録済みのクラブ／地区役員として、クラブや地区の各種レポートが閲覧できない
- ・補助金センターへのアクセスができず、地区補助金やグローバル補助金の手続きができない 等

◆ My ROTARY アカウントをこれから作成する方

1. ロータリーに登録済みのメールアドレスをご確認ください。これは、所属クラブのクラブ役員／事務局の方々が、My ROTARY の会員情報ページにてご確認いただけます（[確認方法のマニュアルはこちら](#)）。有効なメールアドレスの登録が無い場合、My ROTARY アカウントを作成する前に、必ず会員情報にメールアドレスをご登録ください。
2. 登録されているメールアドレスを使って、[My ROTARY トップページ](#)からアカウント登録へお進みください。
[アカウント作成方法のマニュアルはこちら](#)

《留意点》 アカウント作成に登録済みのメールアドレスを使うことで、その My ROTARY アカウントに会員情報が反映されます。登録されていないメールアドレスを使ってしまうと正しく会員情報が反映されず、そのメールアドレスを後から会員情報に登録することはできなくなりますのでご注意ください。

寄付・認証

AGOオンラインセミナー 「ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)勉強会」のご案内

PHS会員による寄付は、地域社会から国際的な活動まで、世界で「よいことをする」ためのプロジェクトを力強く支えています。2013-14年度の創設以来、日本のPHS会員は1,700名を超え、その役割と関心はますます高まっています。

一方で、「レポートが複雑でわかりにくい」という声や、具体的な質問をいただくことも増えています。そこで今回の勉強会では、昨年ご好評いただいた内容をさらにアップデートし、よくある疑問を整理しながら、最新情報と実践的なヒントをお届けします。

- PHSをわかりやすく解説
- 推進や説明に役立つポイント

PHSをより身近に感じ、地区やクラブでの推進活動に活かすための機会として、ぜひご参加ください。

- 開催日時:2026年2月19日(木) 14:00～15:00
- 開催形式:Zoom ミーティング
<https://rotary-org.zoom.us/j/91565477499?pwd=WabGZsEWIZXPULBbOa02UvyukSsmvT.1>
 ミーティング ID: 915 6547 7499 パスコード: 751350
- 参加対象:地区ガバナー、地区財団委員長、地区PHSコーディネーター、地区資金推進小委員長、地区事務所員、クラブでPHS推進を担当されている方／その他関心のある方など、どなたでも
- 進行:国際ロータリー日本事務局 財団室 寄付推進コーディネーター (AGO) 近藤 かおり
 ※ [ポール・ハリス・ソサエティパンフレット](#)をご参照ください。
 ※ 事務(実務)的な説明が多い内容となります。ご参加の際は、ポール・ハリス・ソサエティ・レポート([寄付・認証の手引き](#) P.46)をお手元にお持ちください。

PHSのリソース(認証状テンプレートなど)は[こちら](#)

PHSオンライン入会フォームは[こちら](#)

本件に関する問い合わせ先:

財団室 寄付推進オフィサー(AGO) 近藤 かおり

Email: Kaori.Kondo@Rotary.org

【ロータリーの遺贈寄付】

あなたの想いを、未来のかたちに。



未来への贈りもの、はじめてみませんか。

世界の平和、教育の提供、地域への支援——

そんなあなたの想いを、確かなかたちにする方法があります。

それが「**遺贈寄付**」。

遺言や相続財産を通じて、社会に永く貢献できる仕組みです。

少額からでき、金額に応じて、あなたの名前を冠した基金を設立することもできます。

あなたの想いが、未来の誰かの力になります。

お問い合わせ・ご相談

国際ロータリー日本事務局 財団室

✉ rijpntrf@rotary.org ☎ 03-5439-5805

<https://piif-rfj.org/bequest>

*匿名でのご相談も承ります。

詳細はウェブサイトをご覧ください

遺贈(相続財産や遺言からの寄付、税制上の優遇措置等)



リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[年次基金リソース](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

[DDF の繰越金に関する制限:よくある質問\(FAQ\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

● [パワーポイント](#)

● [動画](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[END POLIO NOW](#)

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

[クラブ優秀賞](#)

<DDF の寄贈>

ポリオプラス基金に DDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: $DDF2 + WF1 + \text{ゲイツ}6 = 9$

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

(使用するDDFの年度を、2021または現年度から選択)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区には、次年度に感謝状が贈られます。

【台北国際大会での寄付者行事】

ロータリー財団は、寄付者の寛大な支援を称えるため、台北国際大会(2026年6月13日～17日)にてさまざまな寄付者のための行事を開催します。
寄付者行事は資格のある寄付者が対象で、登録は先着順となりますのであらかじめご了承ください。



2026年ロータリー国際大会のページはこちら
<https://convention.rotary.org/ja-jp/>

ロータリー財団の詳細は[こちら](#)をご覧ください。[アーチ・クランフ・ソサエティ](#)、[メジャードナー](#)、[遺贈友の会](#)についてもご覧ください。

関連記事:「[美味しい・楽しい・優しい台北に行こう](#)」「[台北の味覚へようこそ:国際大会の合間に…](#)」「[はじめての国際大会を台北で:気軽に楽しむロータリーの世界](#)」(ロータリーボイス)

【公益財団法人ロータリー日本財団 領収証について】

2025年7月から12月までの個人寄付の確定申告用領収証を、2026年1月30日にクラブ宛てに投函予定です(ただし、送金明細書を12月29日以降に送付された分、及び寄付送金明細書に不明点がある場合は、2月上旬の発送とさせていただきます)。

領収証が届きましたら寄付者へお渡しいただき、必ず金額、お名前などをご確認いただくようお願いください(*常用外漢字が含まれている氏名は、一部システムの制限により常用漢字に置き換えて発行させていただきます)。
 なお、領収証は半年間の合計寄付額です。記載の日付は半年間の最終寄付日です。振込みとクレジットカードによる寄付は、別々に発行されます。

原則として、領収証の再発行はできません。紛失には十分にお気をつけください。

誤りがありましたら、公益財団法人ロータリー日本財団(rijpnfs@rotary.org)までメールにてご連絡下さい。

同封物

1	確定申告用寄附金 領収証についての お願い	クラブへの送付状です。
2	寄附者の皆様へ	確定申告に関する説明書です。 コピーして寄付者へお渡しください。
3	領収証一覧	発行された領収証の一覧です。クラブで保管してください。 ※領収証 No.の末尾に「G」と表記があるものは、クレジットカードでのご寄付です。銀行振込の分とは別に発行されます。
4	確定申告用寄附金 領収証送付の ご案内(領収証) 税額控除に係る 証明書	表面: 下部に確定申告用寄附金領収証が付いています。寄付者に原本をお渡しください。 裏面: 当財団が税額控除対象の団体であることの証明書です。 ※領収証の寄付金額は半年間の合算金額となり、日付は最後の寄付日となります。

ポリオプラス



【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2026年 1月1日～ 1月26日	2025年	2024	2023	2022
常在国	パキスタン	0	31	74	6	20
	アフガニスタン	0	10	25	6	2
非常在国	モザンビーク	0	0	0	0	8
世界合計		0	41	99	12	30

ロータリー平和センター



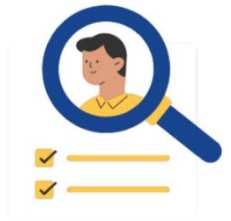
【平和の未来を拓く人を探しています】

2027-28 年度 ロータリー平和フェローシップのご案内

平和や国際協力の分野で専門性を高めたいと考えている方に向けて、ロータリー平和フェローシップの募集が始まります。

このプログラムでは、大学院レベルの学術研究に加え、現場に近い実践的な学びを通じて、次世代の平和リーダーを育成することを目指しています。

対象となるのは、平和構築、国際関係、教育、開発、公共政策などの領域で経験を積んできた方、あるいは社会課題の解決に意欲的に取り組んでいる方です。また、青少年交換や RYLA など、ロータリーの学友として関わった方々の中にも、適した候補者が見つかる可能性があります。



2027-28 年度の申請は 2026 年 2 月 1 日から 5 月 15 日まで、[オンライン](#)で受け付けています。

フェローシップには授業料や滞在費、往復航空券、研修にかかる費用が含まれ、参加者の学びを包括的にサポートします。

候補者をご存じの場合は、[紹介フォーム](#)を通じて情報をご提供いただくことで、プログラムの詳細が候補者のもとへ自動的に届けられます。詳細は[公式サイト](#)または二次元コードからご確認くださいませ。



【世界でよいことをしよう】

ロータリー平和センター(インド) オンラインイベント

日時: 2026 年 2 月 20 日(金)00:00(日本時間) - 2 月 19 日(木)09:00(シカゴ時間)

形式: Zoom(ライブ)

ロータリーは、インド・プネーの Symbiosis International University と提携し、南アジア初となるロータリー平和センターを新設します(第 1 期フェローは 2027 年初頭予定)。

気候変動、紛争、人口移動といったアジア地域の課題に取り組む平和構築者を育成する本センターは、ロータリーが世界で進める「Doing good in the world」を体現する取り組みです。

本イベントでは、そのビジョンと皆さまのご支援がもたらす成果をご紹介します。参加登録は[こちら](#)

補助金

【ボスニアで障がいのあるアスリートがスポーツの場を見つける】

ロータリーの支援で、障がいを持つアスリートたちがバスケットボールとバレーボールの場を手に入れました。

バスケットボール界の大物選手(ニコラ・ヨキッチ、ルカ・ドンチッチ、ベジャ・ストヤコビッチなど)はバルカン半島出身で、バスケットボールは国のアイデンティティの一部となっています。ボスニア・ヘルツェゴビナのサラエボの北東約 40 マイルに位置するゼニツァの障がい者を対象とした調査では、90 パーセントが、スポーツをすることは(愛すべき娯楽も含めて)、社会との関わりと帰属意識を高める方法であると回答しました。そこで、ゼニツァ・ロータリークラブとパートナー団体は、ロータリー財団からの資金援助を受けて、車椅子バスケットボールとシッティング・バレーボールのために、市内で人気の公園にバスケットボール・コートを整備し、完成を祝うために 2 日間のトーナメントを開催しました。 続きは[こちら](#)

【輪島塗を次の世代へ～職業研修チーム(VTT)の可能性】

寄稿者：青山和也さん(富山みらいロータリークラブ)

伝統を進化させるために

「輪島塗職人 VTT」プロジェクトのきっかけは、2024 年 6 月、国際ロータリー第 5280 地区の中曽根牧子バスターガバナーから、補助金を活用した被災地支援の申し出が当地区の原バスターガバナーに寄せられたことでした。

輪島塗業界は、人口減少や高齢化が進む地域社会の中で、後継者不足や担い手の減少、国内需要の縮小といった構造的な課題を長年抱えてきました。加えて、分業制を基盤とする生産体制は、工程ごとに専門性が高められ、高品質な製品を安定して生み出せるという大きなメリットを持つ一方で、担い手の減少などにより、いずれか一つの工程が滞るだけでも全体の生産に影響が及びやすいという側面も併せ持っています。そのような状況下で能登半島地震が発生し、工房や作業環境の被災、職人の生活基盤への影響など、産地全体に大きな打撃を与えました。 続きは[こちら](#)

【インパクトをもたらした活動のストーリーを寄せるようクラブに呼びかけを】

ロータリーでは、補助金によるプロジェクトを通じてもたらされた好ましいインパクトについて、会員のストーリー／体験談を集めています。これらのストーリーは、ほかの会員が参考にできる事例として広く紹介することができます。ロータリー補助金によるプロジェクトが地域社会に測定可能なよい変化をもたらした事例を、こちらのフォームから寄せるよう会員に呼びかけていただけますようお願いいたします。 [フォームはこちら](#)

【2026-27年度 地区補助金の申請は3月から】

次年度の地区補助金申請書は、3月より作成開始できるようになります。(それまでは申請書を開くことができません。)申請書を開始後は、上部に表示される申請上限額を、必ずご確認ください。

リソース

[＜補助金関連ウェブページ＞](#)

[ロータリーの補助金](#)

[補助金の申請](#)

[補助金センター](#)

[補助金による旅行](#)

[参加資格の認定](#)

[奉仕プロジェクトセンター](#)

[プロジェクトフェア](#)

[＜補助金の基本情報＞](#)

[補助金のプレゼンテーション](#)

[変化をもたらそう: ロータリーの補助金](#)

[補助金に関する各リーダーの責務](#)

[DRFC 補助金ハンドブック](#)

[地域調査の実施](#)

[インパクトハンドブック](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[重点分野の基本方針](#)

[ロータリーアクトクラブによる補助金](#)

[利用-よくある質問](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

[授与と受諾の条件](#)

- [地区補助金用](#)

- [グローバル補助金用](#)

[参加資格認定](#)

- [地区の覚書\(MOU\)](#)

- [クラブの覚書\(MOU\)](#)

[＜補助金を申請する＞](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[＜ロータリー平和センターと奨学金＞](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[平和フェローシップ会員の役割](#)

[平和フェローシップの申請](#)

[プレゼンテーション \(PPT\)](#)

[奨学金の提供](#)

[ロータリーの学友](#)

【奨学金申請のヒント:ロンドンの奨学金担当会員による卓話と奨学生向けZOOMセッション】

日本学友会の会長でもあるかながわ湘南ロータリークラブの高木直之氏より、こちらの情報をご共有いただきました。年末に各地区にもメールにてご案内が送られています。関心のある方はどなたでもご参加いただけるということです。このイベントは、ジョン・バートレット氏と仕事でも長年の付き合いのある高木氏が、奨学生とのご縁でさらに親交を深められ実現したものです。2025年10月のロータリーの友にも情報が掲載されています。(54-55/縦組み14-15ページ)

かながわ湘南ロータリークラブでは、ロンドンを含む第1130地区グローバル補助金奨学生コーディネーターのジョン・バートレット(John Bartlett)氏が、仕事で来日されるのに合わせ、2月7日の例会(藤沢・第1相澤ビル)で卓話をお願いすることになりました。卓話では、ロンドンでの奨学生受け入れ体制の紹介に加え、日本から奨学生を送り出すロータリアンの皆様からのご意見・ご要望を伺いたいとのことです。オンラインでの参加も可能です。また、同日に奨学生向けの Zoom セッション(21:00～)も開催されます。

◆例会(卓話)参加:日時 2月7日(土)12:30～

近隣のロータリーの皆様におかれましては、例会にご参加いただければ、直接彼に会うよい機会ですし、遠方の皆様におかれましては、ズームでの参加も可能です。

<参加登録フォーム> (例会参加/ズーム参加)

<https://forms.gle/ScA6lo95TSWFpfcX8>

<Zoomミーティング>

<https://us06web.zoom.us/j/81150010561?pwd=ymTJhjoK0OGTBHfzPPCO9OF2bG0FF.1>

ミーティングID: 811 5001 0561

パスコード: 225177

◆奨学生向け Zoom セッション: 2月7日(土)21:00(日本時間)～

Topic: Zoom session for Rotary Scholars bound for GB and Ireland

このセッションは、ロンドンばかりでなく、Great BritainとIrelandでの留学を考えている新奨学生を対象に、留学開始にあたって注意すべきこと、現地でのロータリーとのつながりなど、みなさんの留学をサポートするのが主な目的です。

<参加登録フォーム>

<https://forms.gle/htBD7DAHdVLJtcYq8>

<Zoomリンク>

<https://us06web.zoom.us/j/86286755635?pwd=MqzI3Y9UaFz7PyAa6eCHulbgfYtjeK.1>

ミーティングID: 862 8675 5635

パスコード: 089325

ご質問は[こちら](#)まで

【あなたの専門知識を世界でよいことのために生かしませんか】

ロータリーでは、[ロータリー財団専門家グループ\(Cadre\)](#)を募集しています。

ロータリー財団専門家グループ(Cadre)は、ロータリー財団プロジェクトのインパクト強化を支援するロータリー会員のネットワークです。ロータリーの重点分野と財務監査における専門知識を生かして、ロータリー財団の資金管理を支え、会員が効果的にプロジェクトを計画、実施、評価できるよう支援します。

グループには 80 カ国から 500 人以上のメンバーがおり、メンバーの使用言語は 80 カ国語以上に上ります。クラブがより持続可能なプロジェクトを立案するために専門家グループがどう援助できるかをお読みください([英語の記事](#))。

職業の専門知識や技術的な専門知識を、よりインパクトのあるロータリープロジェクトのために生かしたいとお考えの方は、ぜひ財団専門家グループへの加入をご申請ください！

[専門家グループへの参加方法と現在の募集ニーズはこちら\(pdf\)](#)

※英語は必須条件ではありませんが、コミュニケーションや研修など英語を使用する場面が多くあります。



大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付・ご誓約)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2025年12月11日～2026年1月8日確認分 (敬称略、寄付・誓約日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2680	姫路東	白井 務子	2590	横浜南	宮田 彰久
2550	宇都宮 90	飯村 慎一	2790	市原中央	大倉 崇
2740	大村	石坂 和彦	2780	秦野中	小巻 慎吾
2650	あすか	中川 基成	2760	江南	伊藤 靖祐
2570	本庄	高柳 育行			
計 12 件 (匿名1件、飯村様 2 件、大倉様2件)					

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)

[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)

[「END POLIO NOW」のロゴ](#)

[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)

のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)

[クラブで SNS を活用するヒント](#)

今後の予定

1月1日 ～31日	ロータリー財団特別功労賞
2月23日	ロータリー創立 記念日
6月13日 ～17日	国際大会 (台湾、台北)

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073

東京都港区三田 1-4-28

三田国際ビル 24 階

Email: RIJPNTRF@rotary.org

Tel: 03-5439-5805

Fax: 03-5439-0405

ロータリー財団 2025-26年度 12月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,192	52.73	115,591.21	35,778.05	1,000.00		152,369.26	82%
2510	2,213	70.71	156,476.94	23,388.01	1,473.15	178.30	181,516.40	85%
2520	1,946	41.59	80,928.78	65,444.01	61,045.51	102.56	207,520.86	113%
2530	2,093	43.79	91,651.21	27,734.74	6,283.23	1,116.35	126,785.53	82%
2540	1,132	28.00	31,700.18	5,354.64	1,000.00		38,054.82	107%
2550	1,523	92.12	140,296.15	25,064.59	65,034.48	2,100.00	232,495.22	70%
2560	1,971	81.06	159,759.83	35,983.23	1,000.00		196,743.06	96%
2570	1,518	90.08	136,735.47	38,388.44	24,853.30	3,150.00	203,127.21	49%
2580	3,010	94.65	284,887.54	74,849.05	64,912.60	3,406.41	428,055.60	88%
2590	1,755	127.44	223,649.92	36,679.01	41,473.90		301,802.83	88%
2600	1,734	66.24	114,868.18	27,596.34	2,726.63	40.02	145,231.17	69%
2610	2,439	63.76	155,513.24	28,990.22	731.99		185,235.45	99%
2620	2,771	71.68	198,637.75	55,040.34	14,600.26	1,897.56	270,175.91	81%
2630	3,025	78.82	238,424.69	31,126.14	33,360.28	64.10	302,975.21	90%
2640	1,453	62.03	90,134.61	20,768.47	2,035.00	2,983.17	115,921.25	78%
2650	4,136	100.61	416,104.99	71,894.44	30,660.43	6,962.88	525,622.74	93%
2660	3,359	131.48	441,654.33	146,259.46	86,246.70	20,185.22	694,345.71	99%
2670	2,694	59.89	161,345.37	30,674.47	12,141.38	164.30	204,325.52	69%
2680	2,396	70.58	169,112.53	47,245.87	13,000.00		229,358.40	90%
2690	2,840	80.09	227,458.32	61,447.58	2,964.65	336.04	292,206.59	96%
2700	3,082	44.34	136,653.55	35,693.45	800.52	4,530.07	177,677.59	90%
2710	3,047	94.53	288,043.94	52,975.66	22,000.00		363,019.60	96%
2720	2,227	76.98	171,436.28	45,581.22	47,544.97	12,147.95	276,710.42	135%
2730	2,257	44.09	99,500.74	8,396.59	21,234.23	4,287.70	133,419.26	149%
2740	2,001	25.22	50,469.92	16,096.97	15,000.00		81,566.89	69%
2750	4,452	106.33	473,361.00	144,941.29	223,504.66	5,330.00	847,136.95	106%
2760	4,516	125.76	567,910.80	163,505.04	35,019.78	3,251.08	769,686.70	106%
2770	2,139	121.30	259,462.98	55,921.92	51,923.85	780.75	368,089.50	79%
2780	2,319	113.56	263,345.01	59,123.84	140,433.41	3,830.25	466,732.51	108%
2790	2,665	100.33	267,376.58	48,381.42	20,120.49	11,638.47	347,516.96	98%
2800	1,447	68.79	99,537.72	25,708.08	6,721.20		131,967.00	109%
2820	1,840	127.39	234,391.57	55,762.50	26,492.79		316,646.86	89%
2830	1,093	51.90	56,729.07	10,488.05			67,217.12	75%
2840	1,998	65.14	130,144.25	32,847.88	4,252.31		167,244.44	92%
日本	81,283	82.84	6,733,294.65	1,645,131.01	1,081,591.70	88,483.18	9,548,500.54	92%
世界	1,124,681	56.37	63,397,128.06	19,818,141.31	37,505,465.90	15,123,662.08	135,844,397.35	
日本の 割合	7.23%	-	10.62%	8.30%	2.88%	0.59%	7.03%	

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はありません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。